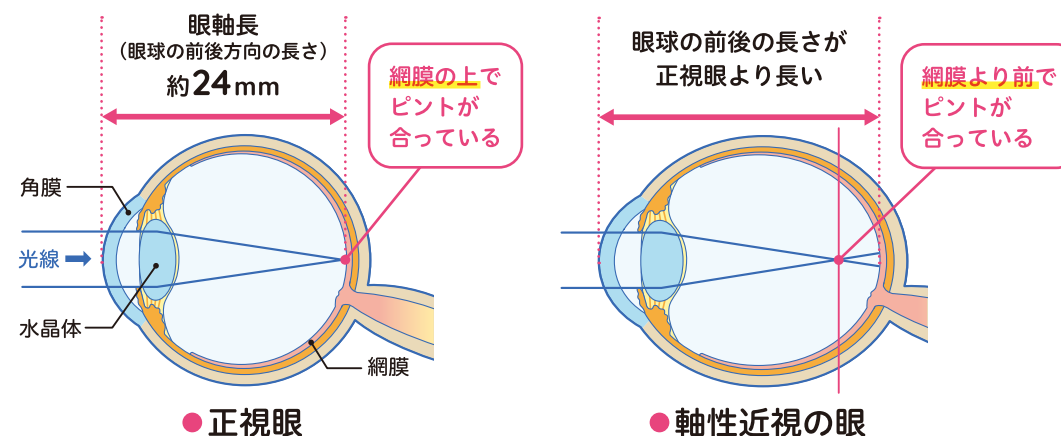


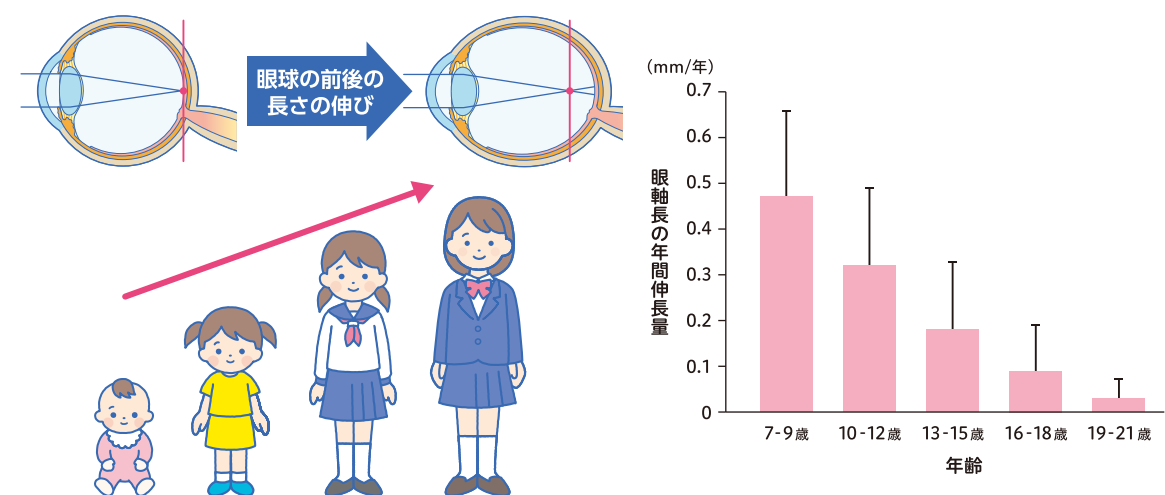
近視と対処法

近視は将来の目の病気のリスクを高める可能性があるため、適切に対処することが大切です

近視とは、目の中に入った光のピントが合う位置が網膜より前になっている状態のことをいいます。
近視のほとんどは眼球が前後に伸びることで起こります。



眼球は体が成長する時期に伸びることが多く、低年齢の頃に速く伸びる可能性があります。



近視は、軽度であっても、将来、視力にかかわる病気になる可能性があります



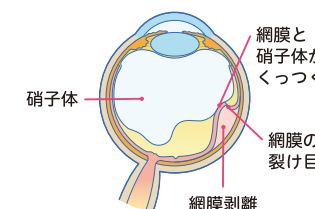
緑内障

自分でも気づかいうちに、ゆっくりと、視野が欠けていく病気



白内障

目のレンズ(水晶体)が濁って見えにくくなる病気



網膜剥離

網膜がはがれて、見えにくくなる病気

近視進行予防の生活指導

- 屋外で過ごす時間を増やしましょう
- 近くを見続けないようにしましょう

眼科で行われる近視の対処法

メガネ、コンタクトレンズによる矯正

- お子さんの状態にあった視力矯正が大切です

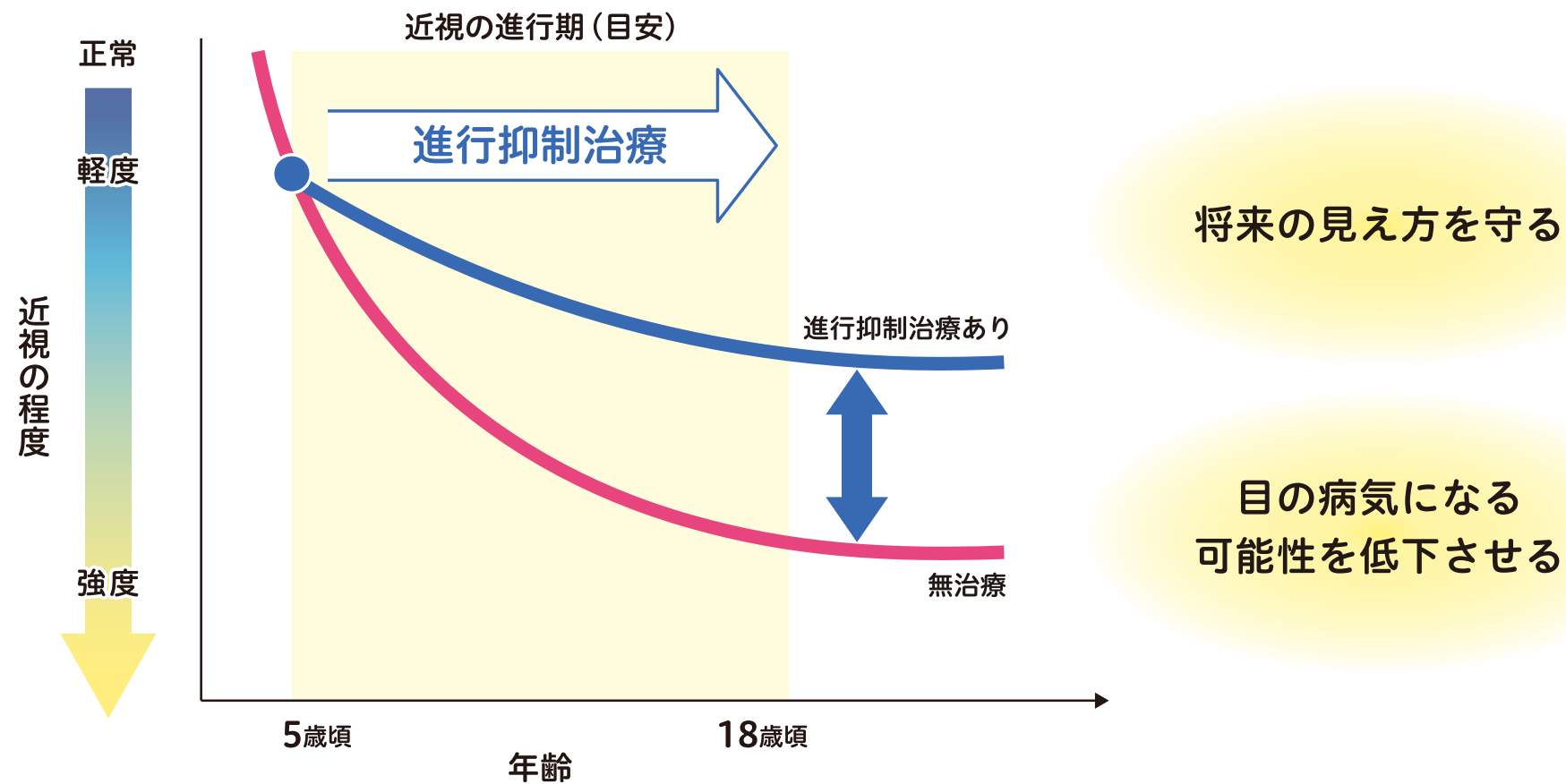
近視の進行を抑える治療

- 近視の状態や進行状況によっては、近視の進行を抑える治療を行うことがあります

近視の進行を抑える治療の目的

近視は子どものときほど速く進む可能性があります。
早い段階からできるだけ近視が強くなるのを避けることで、
将来の見え方を守り、目の病気になる可能性を低下させることが治療の目的です。

近視進行抑制治療（イメージ図）



近視進行抑制治療は近視の進行を抑制するものであり、進行が完全に止まるわけではありません。

近視進行抑制治療は近視を改善するものではないため、近視の程度に応じて眼鏡やコンタクトでの視力矯正が必要になる可能性があります。